

# 哲 學 研 究

第 八 卷 第 二 冊

第 八 十 三 號

大 正 二 十 二 年 二 月 一 日 發 行

繪畫の優劣は如何にして可能なる

か(二).....文學士 植田 壽藏

公羊家の文化階段説.....文學士 小島 祐馬

法と道德.....文學博士 西田幾多郎

教育學方法論(完).....文學士 伊藤 猷典

メデイクスの道德的評價の二原理

.....文學士 世良 壽男

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルトコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

書記	委員	
	文學士	植田壽藏
	文學博士	狩野直喜
	文學博士	小西重直
	文學士	澤村專太郎
	文學博士	高瀬武次郎
	文學博士	田邊元
	文學博士	千葉胤成
	文學博士	朝永三十郎
	文學博士	西田幾多郎
	文學博士	野上俊夫
	文學博士	波多野精一
	文學博士	深田康算
	文學博士	藤井健治郎
	文學博士	松本文三郎
	文學士	務臺理作
	文學博士	米田庄太郎
		寶殿方夫

# 彙報

## 倫理學會例會

一月廿六日午後六時より學生集會場にて左の如く開會した

迷信の來歴

理學部教授 新城 新藏氏

## 教育學會例會

一月廿五日午後五時より學生集會場にて開會、左の講演があつた

教育學方法論の論理的發達に就いて 文學士 伊藤 鐵典君

## 印度宗教學會

一月廿五日午後六時より第六教室に開會

藤原 迦を中心とせる淨土教美術について

塚本 善隆君

佛敎道徳

堀田 兼成君

## 心理學讀書會

一月十八日三時半より心理學研究室にて

Wolfgang Köhler: Intelligenzprüfungen an Menschenaffen.

一月廿五日三時半より同上

Julius Pflüger: Theorie des Wüderschen Grenzen.

文學士 岩井勝二郎君

## 金曜會例會

一月十九日午後五時より學生集會場で例會を開き色々な問題について自由に話し合つた、就中自辨文學士の太宰の語について賑は

つた。出席者伊藤、岩井、宮城、自井、世良、務豪、高橋(後)、大脇、加藤、吉田、赤松。

## 石川博士特別講演

一月十九日より毎金曜午後四時より六回完結の豫定にて生理學に關する講演開始、第二回(一月廿六日)分題目左の如し

1、根本與奮と新活力説とラブラスの覺と。

2、不應期曲線より自働的生命へ。

## 寄贈書籍雜誌

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、教育研究、内外教育評論、學校教育、教育、教育學術界教育時論、國際聯盟、教育界、精神運動、三田文學、講座

## 前 號 目 次

	規 範	
	.....	文學博士 西 晋 一 郎
	男女共學に就て	文學博士 野 上 俊 夫
	.....	
	歴史の意義に關してギリシア思想とヘブライ思想	.....
	.....	文學博士 波 多 野 精 一
	常識的實在論の基礎づけ	文學士 久 松 眞 一
	.....	
	教育方法論	文學士 伊 藤 猷 典

告 會

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會  
 文學部 振替口座大阪參〇六六叁番

定 規 文 註

◎ 會員にあらざる識讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候  
 ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候  
 ◎ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候  
 ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

冊	冊	冊	冊	冊	冊
一	二	六	十二	一	一
冊	冊	冊	冊	冊	冊
金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢	金貳圓四拾錢
不	不	不	不	不	不
申	申	申	申	申	申
受	受	受	受	受	受

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十二年 一月廿五日印刷納本  
 大正十二年 二月一日發 行  
 第八十三號 第八卷 第二册  
 京都帝國大學文學部内

製複許不  
 載轉禁

發行所

京都府下京區西洞院通七條南  
 西洞院七條南

内外出版株式會社  
 振替口座 大阪三二九五番  
 東京三九三一番

編輯者 京都哲學會  
 右代表者 寶 嚴 方 夫  
 發行者 大谷仁兵衛  
 印刷者 村上勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部  
 京都府西洞院通七條南  
 西洞院七條南

本社 京都市下京區西洞院通七條南  
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地  
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ一  
 内外出版株式會社

賣捌所 (大阪) 東京堂 東海堂 北隆館  
 (神戸) 寶文館 三誠社  
 (京都) 共盛社 大盛社

山村暮鳥著◇河野通勢畫

# 鉄の靴

新菊版五百餘頁
和紙美裝
定價參圓八拾錢
郵稅貳拾五錢

百章五百頁の此長篇童話は日本が始めて生んだアラビアンナイトです。小説家が片手間に書いた悲哀小説などは違ひ此れは山村氏がすつかりの人生觀を投入し人間の理想を彫刻しようとして作り上げた命がけの力作です。子供が讀んで大きな力を得る許りで無く大人が讀んで限り無き人生の感激を其中から汲み取る事が出來ます。此れでこそ國民的讀物だと申せませう。河野氏の挿畫は此れ亦一枚一枚力に充ちた堂々たる大作でとても他では見られない。内容装幀共に此れ程美しく力強く整つた本は珍らしい事です。宗教臭く無い宗教味を求める人の子の親は是非一本を購つて御家族共々に讀んで下さい。

## 忽再版

(大正五年四月六日)大正十二年一月二十五日印刷 納本  
 (第三種郵便物認可)大正十二年二月一日發行(毎月一回)日發行

哲學研究 第八十三號

定價金四拾錢 郵稅金壹錢

發兌元 東京市神田區錦町一ノ南 七條院 西河 堀田 七條院 南 內外出版株式會社 (編輯部) 大阪(座) 九番五